

ご寄付 使途報告書 【2024 年度】

2024 年 4 月から 2025 年 3 月までにお寄せいただいた寄付金は、総額 307,962,060 円（367 件）でした。ご寄付をいただいた皆さまに対し、心からお礼を申し上げます。
お寄せいただいた寄付金は、2023 年度までの積立金や本市の他財源と合わせて、以下の事業に使わせていただきました。

■ Arts Aid KYOTO

Arts Aid KYOTO は企業や個人の皆さまからいただいたご寄付のうち 70%をアーティスト等の活動へ補助金として交付し、30%を本市が行う文化芸術振興策へ活用する仕組みです。2024 年度は事業認定型・通常支援型合わせて 60 件の事業を支援しました。

※補助金交付額はいずれも 2025 年 7 月時点（決算確定前）の見込額です。

事業認定型 認定事業 <補助金交付額：161,343 千円> <支援件数：21 件>
京都周遊アコースティックフェス 2024
清浄楽コンサート
京都市美術館開館 90 周年記念事業「村上隆 もののけ 京都」京都市内大学生以下無料化事業
京都学生演劇祭 2024
京都二条城「アンゼルム・キーファー：ソラリス」展
共通舞台「ロミオとジュリエット」
Water Calling
京都モダン建築祭
NAKED GARDEN ONE KYOTO 2024
三浦光雅 作品制作と個展 in 京都
全京都洋舞協議会 65 周年記念公演
Art Bridge KYOTO
京都・太秦の時代劇をテーマにした映画の企画開発
みらいの森 i-ART プロジェクト
大丈夫、見つかるよ！「ハラダイス版ハンケイ 500m」
京都未来芸術祭 New Year Concert 2025
第 3 回コーポレートアートエイド京都
第 9 回京都学生アートオークション
京都周遊アコースティックフェス 2025
Contemporary dance solo creation vol.1 「AISTHESIS」
MUSIC AWARDS JAPAN 2025 KYOTO 地域共同イベント（仮）

通常支援型 採択事業 【一般助成枠 A】 <補助金交付額：3,880 千円> <支援件数：4 件>
対話鑑賞のための〈トークン・アバウト TALKIN' ABOUT〉展
第三回京都文学レジデンシー
Bambino! ベイビーシアター『WONDER』京都公演+あかちゃんシアターフェス（仮）
京北アーティストインレジデンスと上演プロジェクト『風景によせて 2024』
通常支援型 採択事業 【一般助成枠 B】 <補助金交付額：4,901 千円> <支援件数：25 件>
"Monuments of the Mundane and the Sublime" *和文表記=展覧会「日常と崇高の記念碑」
まめもやし展覧会 一見て・聞いて・語る場—
大原野ダンスプロジェクト秘密劇場ミラネリ公演
即興を構築する トリシャ・ブラウンの手法をもとに
劇画の源流？精緻なペン画で蘇る芹川版『忠臣蔵』活弁上演
「VOX in FRAME」～河原町 VOX ビルの 40 年を振り返る
展覧会「春の聲」
アンサンブル九条山コンサート vol.15
土田麦僊《三人の舞妓》再現プロジェクト
アジュラックブロックプリントワークショップ
記号から解放された視覚言語のリサーチ 仮
連続シンポジウム「アナーキテクチャー～ヒエラルキーなき協働は可能か～」
You are what you eat
讃田彦尊 リサーチ+ワークショップ+上演
第 8 回 フィエスタ メヒカーナ 京都 2024
SUJIN CRAFT TOUR
滞留
Get a cat ことばで音楽をつくるには
澤田華「オセロか星座（仮）」
「半透明の美学」と現代の絵画（仮）
小劇場演劇が取り組む親子で観劇できる作品の創作と普及
書くことのプラクティス
ダムタイプ 《pH》大上映会
京都建築映像祭 2024
京都市立芸術大学 現代音楽研究会 clubMoCo 第三回定期演奏会

通常支援型 採択事業 【若手交流枠】＜補助金交付額：859 千円＞＜支援件数：10 件＞
BEING YOUNG 企画（仮）
ファンクバンド「踊る！ディスコ室町」東京公演の開催
かんさいびじゅつの会 ー現代美術分野を中心とした、制作実践と理論を横断する大学生・大学院生による自主勉強会・研究会
もう一つの出来事（仮）
身体から思考するワークショップ
Don' t Dramatic Serenade
岡田温司×河合政之トークイベント in 京都精華大学
京都市・西安市姉妹都市提携 50 周年記念コンサート
Amusement tanji in メキシコ
日本の美をとどける

■京都市の文化芸術に関する事業・施策

お寄せいただいたご寄付の一部を、本市の他財源と合わせて以下の事業・施策に活用しました。（主なものを掲載しています。）

※決算額はいずれも 2025 年 7 月時点（決算確定前）の見込額です。

京都・文化ファンドレイジング戦略推進事業	京都国際舞台芸術祭 (KYOTO EXPERIMENT)
決算額：181,525 千円   <実績> Arts Aid KYOTO 補助金制度の運用 Kyoto Art Donation の運用 「京都文化寄付月間」（12/1～31）の開催 「京都市京セラ美術館 新進作家支援・育成事業等のためのチャリティ・オークション&ガラ・ディナー」の開催 <概要> 文化芸術の振興と持続的な発展を目指し新たな資金調達の仕組みを構築するため、オンライン寄付ポータルサイト「Kyoto Art Donation」の運営、Arts Aid KYOTO 補助金制度の運用のほか、12 月を「京都文化寄付月間」として寄付を呼びかけるなど、社会全体で文化芸術を支えるための取組を実施。	決算額：23,297 千円  <実績> 来場者数延べ：30,994 人 リサーチプログラム 「Kansai Studies」リサーチャー：3 名 上演プログラム「Shows」：14 作品 ワークショップやトーク「Super Knowledge for the Future [SKF]」：10 プログラム <概要> 「京都文化の＜現在＞を世界に発信し、交流を生み出す場となり、文化芸術と社会の出会いを促進する国際フェスティバルを目指す」ことを基本理念とし、京都、日本、世界の先駆的・実験的な舞台芸術を紹介する舞台芸術祭。https://kyoto-ex.jp/ 実施期間：2024 年 10 月 5 日～27 日 開催場所：ロームシアター京都、京都芸術センターなど

若手芸術家等の居住・制作・発表の場づくり

決算額：24,804 千円



<実績>

相談窓口の開設／相談件数：176 件

居住支援／物件マッチング実現数：1 件

制作支援／

閉校施設を活用した制作スタジオ提供：6 室

発表支援／キュレーター招聘：1 件

芸術家×仕事コーディネート事業：2 件

<概要>

京都を拠点に活動する若手芸術家等（主に現代美術）を対象とし、芸術家たちの居住、継続的な制作や発表を支援するための各種事業を実施。

<https://haps-kyoto.com/>

京都文学賞・京都映画賞

決算額：13,778 千円

京都文学賞

Kyoto Literature Award

■京都文学賞

<実績>

受賞作の出版化（協力出版社から）『危険球』

次年度の選考にむけた作品募集

<概要>

京都における文学の振興に寄与するとともに、「文化都市・京都」の発信や、京都の歴史と幅広い魅力の再認識、都市格の向上につなげていくために、隔年で京都を題材とする文学作品を募集し、表彰。

<https://kyotobungakusyo.com/>

■京都映画賞

<実績>

京都映画賞会員 7,947 名

（2025 年 3 月 1 日現在）

作品賞 1 件、優秀スタッフ賞 3 件等を表彰

作品賞受賞作品の上映

野外映画上映イベント及びロケ地解説講座の実施

<概要>

京都に集積する映画製作に関する様々な財産を未来に継承し、京都の映画文化の振興と継承につなげるための顕彰制度。<https://filmaward.kyoto/>



子どもたちが文化芸術に触れる機会の創出

決算額：24,553 千円



<実績>

「ようこそアーティスト（文化芸術授業）」

ワークショップ：121 回

延べ参加者数：4,218 名

「ようこそ和の空間（伝統公演授業）」

鑑賞：2 公演

延べ参加者数：739 名

KYOTO ART BOX for KIDS

<https://kyoto-artbox.jp/kids/> の運用

<概要>

京都の文化芸術を支え、継承と創造をしていく次世代の「担い手」「支え手」となる若者を育成することを目指す、感性豊かな子どもの頃から、質の高い文化芸術に直接触れる機会を創出。

文化芸術による共生社会実現のための基盤づくり

決算額：18,050 千円

SW/AC

Social Work / Art Conference

<実績>

相談事業／

「Social Work / Art Conference (SW/AC)」

相談件数：45 件

普及・啓発事業／朝の談話室「ことば で 調える」

開催：5 回

参加者数合計：38 名

モデル事業／東九条・崇仁地域・楽只地域で取組を行ってきた人々との協働、お話会の実施

<概要>

障害、ジェンダー、民族・出自差別など、様々な課題による「社会的排除」に対して、文化芸術の力を活用し、その緩和や解決につなげる施策（社会包摂）を推進するもの。

https://haps-kyoto.com/social_inclusion

京都市文化芸術総合相談窓口（通称：KACCO）

決算額：16,000 千円



<実績>

相談件数：**622** 件
相談会、講座等開催数：**12** 件
参加者数：**75** 人

<概要>

京都芸術センター内に設置する相談窓口。文化芸術活動全般に係るアドバイス、各種補助金の紹介に加え、契約書・著作権等の法律相談、メンタルケア、税務・確定申告の相談に至るまで、専門家・関係機関と連携しながら、文化芸術活動に必要な支援策の情報発信、各種相談に総合的に対応している。

<https://www.kyotoartsupport.com/>

伝統芸能文化創生プロジェクト

決算額：9,300 千円



<実績>

伝統芸能文化に係る相談対応：**335** 件
伝統芸能文化復元・活性化共同プログラム採択数：**2** 件
「京都の文化芸術合同相談会」の開催
「2024 祇園祭×NHK 京都」における祇園祭関連展示及び鉦すり体験の実施
関係機関とのネットワーク構築

<概要>

京都芸術センター内に事務局「伝統芸能文化アーカイブ&リサーチオフィス（TARO）」を設置し、伝統芸能文化に関する保存・継承・普及等の総合的な観点から、伝統芸能文化を取り巻く課題の改善に取り組む。

<https://traditional-arts.org/>

芸術家の移住・居住等推進モデル事業

決算額：8,400 千円



<実績>

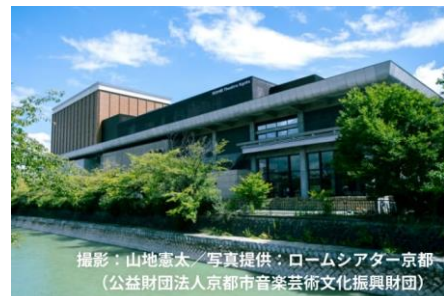
相談件数：**112** 件
移住・居住が実現した件数：**8** 組 **10** 人
PR イベント
開催：**2** 件／京都・東京
参加人数計：**43** 人
不動産事業者等とのネットワーキング構築数：**10** 件
市内に移住した文化芸術関係者のインタビューサイト「たどり着いたら京都」
(<https://tadoritsuitara.kyoto.jp/>) の運営

<概要>

KACCO における芸術家からの移住・居住等に係る相談対応をはじめ、不動産事業者との連携による物件の掘り起こし、市内に移住した文化芸術関係者等のインタビュー掲載、市内外でのプロモーション事業等、芸術家の移住・居住等を推進。

魅力ある施設の運営（ロームシアター京都）

決算額：357,343 千円



撮影：山地憲太／写真提供：ロームシアター京都
（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）

<実績>

・主催・共催事業：**39** 事業 **103** 公演 **18** 講座
（うち 1 事業 2 公演中止）
・入場者数：**356,716** 名
・ホール利用率：**75%**

<概要>

公益財団法人音楽芸術文化振興財団を指定管理者として、京都の文化芸術の創造・発信拠点として、“京都に「劇場文化」をつくる”をコンセプトに、貸館運営だけではなく、文化芸術の創造・発信拠点にふさわしい、質の高い舞台芸術の企画・制作や招聘等に取り組む。

<https://rohmtheatrekkyoto.jp/>